

平成29年度 政務活動報告書

会派又は議員名 緑風会

政務活動期間	平成30年3月27日～29日（3日間）
政務活動先	兵庫県養父市・洲本市、徳島県藍住町・北島町 香川県三木町・丸亀市
政務活動参加者	高谷 茂、秋場信一（2名）
政務活動項目	○国家戦略特区の取り組みと成果について ○地域公共会社の取り組みについて ○自家用自動車有償旅客運送の取り組みについて ○図書館のある町と複合型公共施設（視察）
政務活動項目に係る （目的・結果等の概要・所見）	別紙のとおり

レポート①

平成29年度 政務活動報告書	
日程	平成30年 3月27日～3月29日 (3日間)
研修・視察地	兵庫県養父市 (兵庫県) 洲本市 (徳島県) 藍住町・北島町 (香川県) 三木町・丸亀市
議員名	①監査 高谷 茂 ③ 秋場信一 ②副議長 島田裕司 (合計3名)
養父市 説明者 議員	①国家戦略特区-地方創生課長 谷 徳充 ③企画政策課主幹 田村 亘 ④人権協働課長 石田恵美 ②議長 深沢 巧 ⑤議会事務局長 濱 良賀津 (合計5名)
テーマと目的 兵庫県 養父市	<p>当別町と同面積422haの農業が基幹産業である事や、担い手問題、耕作放棄地問題 過疎地豪雪の山間地域を有し、公共支援の困難地域への移動弱者の問題、 共通するであろう課題点を国家戦略特区でどのような規制改革に挑戦し解消したか等に注目して 当別の将来を重ね合わせ、研修目的とした。</p> <p>また、他には図書館と複合施設、公共の複合文化施設に絞り視察した。</p> <p>●国家戦略特区の認定による課題解決と成果について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規制改革メニューの中の主に7点について質疑応答・意見交換を行う。 <p>①農業委員会と市の権限分担について～委員会同意によって許可事務を市が行い農地の取得が容易に 農業担い手不足と耕作放棄地再生・農地取得要件を緩和し、空き家と農地のセットで取得であれば 10a未満でも可能にする。 小規模農業者7件の実績</p> <p>②地域交共会社の取り組みについて(市が100%出資やぶパートナーズ株式会社) 地域の活性化を旗印に設立、農業、業務請負、起業支援等7部門の事業活動。アンテナショップを 柱にブランド米販売、良質な野菜、加工品等を農家に代わって直売</p> <p>③自家用自動車有償旅客運送の取り組みについて タクシー事業者の利益が出せないエリアでの市民の登録ドライバーによる自家用車での有償運送を 可能に。 どちらが対応するか判断はタクシー事業者が手配。 4町合併後の広範囲をカバー出来、高齢者など移動弱者の生活支援に繋がった。</p> <p>《その他の意見交換》</p> <p>1.農業への信用保証制度適用について～商工分野では通常の制度になっているがアグリ特区保証融資 制度として信用保証協会の保証を受けられ、信用保証料・利子補給など市が支援している。 資金調達原動力としてアグリ分野に信用保証制度が適用によって金融機関としても、融資が容易。</p> <p>2.農業生産法人の要件緩和～法人の従事役員が1人いれば農業生産法人とみなし、現在13の法人が営 農、市内に根付いて雇用創出を含め地方創生の一翼を担っている。 菓菓子製造会社—イチゴ栽培・農機具会社—トマト栽培・(株)三大—唐辛子の栽培加工 (株)マイハニー—養蜂.レンゲ栽培・アルバム—ナカバヤシ(株)—ニンニク栽培etc.</p> <p>3.企業による農地取得の特例～農業経営のための農地の取得を可能にし 特区の深化として～担い手としての農地所有による営農を可能にし、地方企業の強化に繋がる。 1年間で10社の企業誘致に成功した。 現在13法人が営農中で内4企業が農地取得の特例を活用して地域に根差している。</p> <p>4.シルバー人材センター会員の就業時間の拡大～派遣業務において週20→40時間まで就業可能に</p>

安定的な雇用が図られ、会員農地での米生産や生産法人への雇用等、地元経済の活性化に繋がっている。

《研修を通じた感想：戦略特区(規制改革)と地方創生》

自治体それぞれの課題や問題があり、個々に解決への施策が求められる、翻って当別に当てはめるとすれば、魅力・個性をどのように伸ばし、地方創生にどう繋げていくか、人口減少をどう食い止めるか、全国画一の施策に乗じて、当別の魅力や個性が消えていく事の無いよう、確かなビジョンと戦略を立て補助金に囚われることなく慎重に議論していく必要があるだろう。

今回の研修地では国家戦略特区として各種規制改革を地方創成へと着実に前進させ、担い手不足による耕作放棄地問題、過疎化や移動弱者問題など、規制の外にひとつの答えが見えた地域でもあった。だが、そこに宿泊して感じたことは、4つの町が合併し、庁舎所在地で在りながら、中心市街地の様な商業集積がなく、4町に分散した状態のため、賑わいがあまり感じられず、夜も静かだった。

若い世代のみならず定住促進へ結びつきづらいのではないかと、地方創生の一つの課題にも感じた。そして、わが町にも置き換えて考えない訳には行かないのだろう。

レポート②

	●図書館のある町と複合型公共施設
兵庫県 洲本市	○視察の初日、図書館のあるまちの中でも群を抜いて印象に残った洲本市 淡路島中心部に位置し、明治末期の旧鐘紡紡績工場をリノベーション、煉瓦造りの壁をそのまま残した人にやさしい設計、建築家からも評価の高い居心地の良い本のある空間を満喫できた。 更にこの煉瓦工場跡地は公園を中心に煉瓦造りの公共の施設やテナント、レストランなどが集積され、道を挟んで市役所やショッピングセンター、商店街、医療機関、福祉施設等、地方がいま目指しているコンパクトシティの模範的なゾーニングと感じた。 文化の香り高い、洒落たこの町を視察して、改めて設計を手掛けた建築家の選択や決定に係る人達の役割の大きさを感じた。
徳島県 藍住町	○移動手段はレンタカー この日は視察が中心の車移動で、1市4町を移動、他県への移動も北海道とは違い思いのほか近かった藍住町図書館では、司書の施設説明を受けた。 ここは中学校と同じ敷地内に立地しており、隣接型の文教地域として落ち着いた環境で館内も静か。CD、AV等の本以外の利用者も目立っていた。春休みの傾向らしい。 また、高齢者は新聞や雑誌のコーナーを多く利用するようで、小中学生が広い館内に分散し本を読む以外にも音楽や語学など、ヘッドフォンを数名が利用していた。 春休みの午後で利用者は多く感じた。
徳島県 北島町	○移動に車で40分程度 ここでは施設が複合した「北島町総合庁舎」を視察。1F～3Fが町役場と図書館も1Fにあり、町民に利便性の高い多目的な機能を有し、4F～7Fに視聴覚室、会議室、教養室、交流室、大ホール等この日は団体の総会が行われていた。 図書館員の説明後、3Fで事務局員と地元選出議員と懇談の後、本会議場で記念の写真撮影。
香川県 三木町	○ここも1時間以内の車移動ー「三木町文化交流プラザ」 事業費49億円規模の鉄筋コンクリート造4Fで巨大ホール(802名)と小ホール(200名) 会議室、イベントホール、楽屋、団体交流室、そして開放感あるロビーに繋がる贅沢な図書館 全て近代的で贅沢な文化プラザで誰もが羨むような、高嶺の花的存在だった。 現状の当別ではこれ程の施設のイメージは叶いそうもないし、必要ないと感じつつホール職員の説明

香川県 丸亀市	<p>と館内の案内を受けた後、宿泊地の丸亀市に向かった。</p> <p>○夕刻にホテル到着後、丸亀商店街を視察した。</p> <p>平日にもかかわらず老若男女で賑わい、理想的な商店街と言える。</p> <p>500m程が全てアーケード式であらゆる業種の店が揃っていて、全国からの視察の絶えない所でもある。</p> <p>H18年、「まちなか再生事業」として、第三セクター(株)シープネットワーク代表と組合理事長、更に千葉大工学部福川教授による長期的な取組みが功を奏し現在の実績に繋がっている。</p> <p>A地区のセレクトショップB～G地区は既存店舗の改修と小規模連鎖型再開発を上手く連携させプロジェクトの奏功に繋がるも、権利者の調整には難航を極めたようだった。</p> <p>○今日の視察では、暮らしやすさに医療、福祉、教育文化、自然、人、ect.求める条件は個々に多様だが、洲本市のような公共の施設が集約し、商業施設が形成されたまちが優位になるのではないだろうか。</p>
------------	---